

国土交通省渇水対策本部幹事会 議事次第

日 時：令和7年7月31日（木）
（書面開催）

議 事

1. 中野国土交通大臣からの指示事項【資料1】
2. 渇水対策関係省庁会議幹事会の結果概要について【資料2】
3. その他

大臣の指示事項

新潟県において最近の少雨傾向により市民生活に影響が出ていることや、東北地方の一部の地域において渇水が深刻化していることなどを踏まえ、今後の対応について、以下の３点を指示するので、しっかり対応していただきたい。

第一に「利水者間の渇水調整の実施」について

各水系における渇水対策協議会等を通じ、利水者間の円滑な調整を図ること。特に、今回は稲穂が出る時期でもあり、農林水産省とも連携し、現地対応を取ること。

第二に「渇水に関わる情報の共有と発信」について

限られた水資源を有効に活用するべく、渇水に関わる情報を共有・発信すること。

第三に「今後の対応への準備」について

今後渇水の影響が拡大した場合に備え、関係部局において、必要な措置が講じられるよう準備を開始すること。

これらの指示事項を踏まえ、渇水状況を注視し、対応について万全を期してもらいたい。

以上

渇水対策関係省庁会議幹事会の開催結果

1. 日時 令和 7 年 7 月 31 日（木）15:30 から

2. 場所 WEB 開催

3. 渇水の状況及び今後の降水の見通し

- ・ 現在全国一級水系 109 系のうち 15 水系で取水制限等の渇水体制をとっている。
- ・ 新潟県上越市では正善寺ダムの水位が低下し 40%以上の節水を要請する他、給水スポットの設置等の渇水対応を実施している。
- ・ 北上川水系の鳴子ダム及び御所ダムでは少雨により、ダムの貯水率が 0 %となり、最低水位以下の堆砂容量内の貯留水を補給している。
- ・ 農林水産省では、渇水・高温により水稻の生育等への影響が懸念されることから、農林水産省渇水・高温対策本部を設置した。情報の収集・発信や節水の働きかけ、渇水対策に係る補助事業の積極的な活用等について大臣から指示があったところであり、指示に即して取組を進めて行く。
- ・ 少雨となっている地域では、8 月前半は雨となる可能性はあるが、これまでの少雨を解消するほどの降水量は見込まれず、8 月後半は再び高気圧に覆われて晴れる日が多くなる見込み。北・東・西日本の日本海側では 8 月から 10 月にかけての降水量はほぼ平年並の見込み。

4. 渇水体制

(1) 関係省庁での体制の整備

農林水産省 7 月 30 日「農林水産省渇水・高温対策本部」を設置

国土交通省 7 月 30 日「国土交通省渇水対策本部」を設置

5. 会議の概要

- (1) 全国的に厳しい状況となることが想定される渇水状況に対応するため、渇水対策関係省庁会議幹事会（課長級レベル）を開催し、渇水情報の共有及び意見交換を行った。
- (2) 幹事会の内容について、渇水対策関係省庁会議メンバーをはじめ省内で共有することを確認した。
- (3) 今後とも、密接に情報共有を行うとともに、渇水の状況に応じ渇水対策関係省庁会議を適宜開催し、地元関係者間で円滑な調整等対応について万全を期すること合意した。

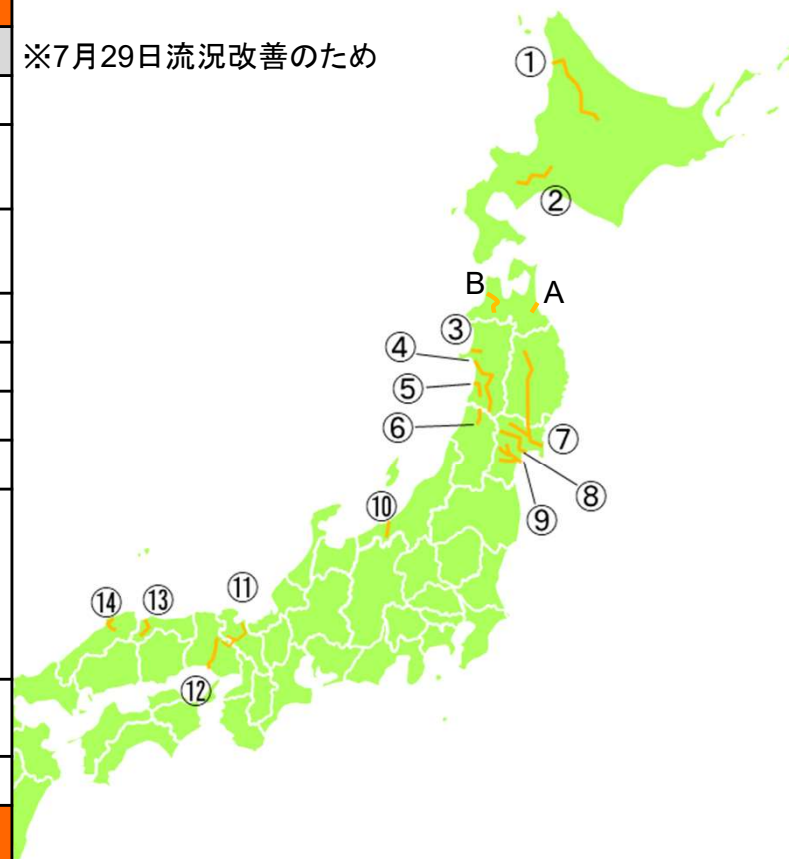
令和7年渇水状況について(7月30日現在)

○7月30日現在、15水系16河川で渇水により取水制限等の渇水体制をとっています。

○中国地方整備局(7月14日より)、東北地方整備局(7月25日より)では、渇水対策本部を設置しています。

地方	No.	水系・河川名	ダム名(貯水率)	協議会等 設置	影響	
					農水	上水・工水
北海道	①	天塩川水系天塩川	岩尾内ダム(96%)	7/18	—	—
	②	石狩川水系漁川	漁川ダム(27%)	7/10	取水制限34%	—
東北	A	馬淵川水系馬淵川		7/29		
	B	岩木川水系岩木川	浅瀬石川ダム(80%) 津軽ダム(28%)	7/29		
	③	米代川水系米代川	森吉山ダム(66%)	7/18	—	—
	④	雄物川水系雄物川	玉川ダム(49%)	7/18	—	—
	⑤	子吉川水系子吉川		7/16	—	—
	⑥	最上川水系鮭川		7/14	—	—
	⑦	北上川水系北上川・江合川	御所ダム(0%) 胆沢ダム(36%) 四十四田ダム(78%) 湯田ダム(32%) 田瀬ダム(71%) 鳴子ダム(0%)	7/14	鳴子ダム・御所ダム貯水量が0%。 一部の土地改良区が節水	—
	⑧	鳴瀬川水系鳴瀬川・吉田川	漆沢ダム(72%) 南川ダム(39%)		—	—
	⑨	名取川水系広瀬川		7/7	—	—
北陸	⑩	関川水系正善寺川	正善寺ダム(12%)	7/15	—	一部減圧給水 ※節水(上水40%)
近畿	⑪	由良川水系滝の尻川	栗柄ダム(44%)	7/23	取水制限13%	—
	⑫	加古川水系志染川・東条川	吞吐ダム、大川瀬ダム(47%)	5/2	取水制限20%	—
中国	⑬	日野川水系日野川	菅沢ダム(31%)	5/19	取水制限20%	—
	⑭	斐伊川水系斐伊川	尾原ダム(37%)	6/30	取水制限50%	—

※7月29日流況改善のため

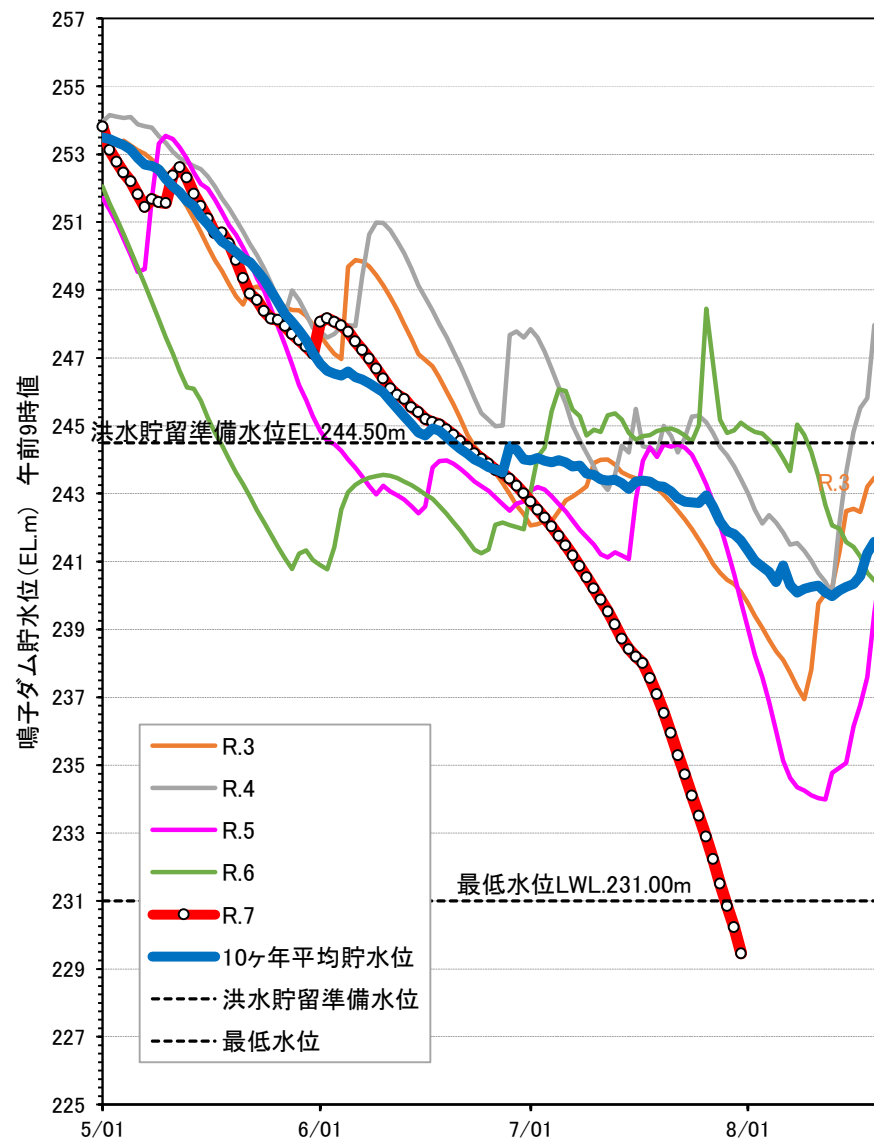


【注釈】

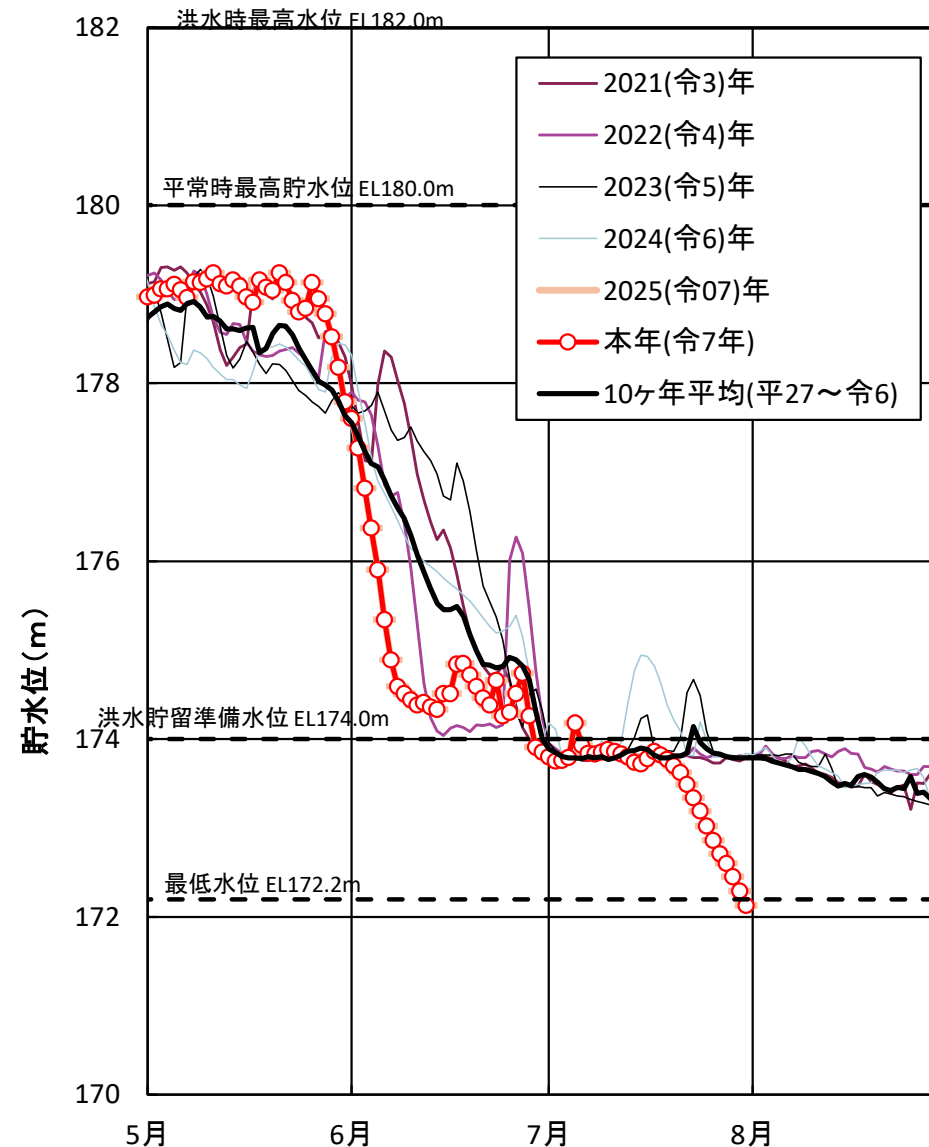
- ・体制が解除された水系は灰色表示、新たに体制がとられた水系は赤色表示
- ・本資料でいう取水制限とは、河川管理者が渇水に関する体制を執っている河川のうち、下記いずれかを満たす河川を指すものである。
 - ①取水施設からの取水量が制限されている河川
 - ②水源施設からの補給が減量されている河川
- ・農水は取水制限を行ったもの、上水・工水は給水制限を行ったものを記載している。
- ・渇水調整協議会等設置の欄は、渇水調整協議会の開催日もしくは支部等渇水体制がとられた日を記載
- ・関川水系正善寺の渇水調整協議会は上越市が設置

○北上川水系の鳴子ダム及び御所ダムでは、少雨によりダムの貯水率が0%となり、最低水位以下の堆砂容量内の貯留水を補給。

●鳴子ダム貯水位曲線



●御所ダム貯水位曲線



農林水産省渇水・高温対策本部の設置と農業用水対策の支援について

農林水産省は、令和7年度の渇水及び高温により、水稻の生育等への影響が懸念されていることを踏まえ、現状把握を通じた速やかな対応を図るため、本日、農林水産省渇水・高温対策本部（以下「本部」という。）を設置しました。

また、農林水産省では、新たな取組として、現場における渇水対策のためのポンプの調達・運転や番水等の取組を支援してまいります。

1 農林水産省渇水・高温対策本部

（1）本部の構成

本 部 長：農林水産大臣
本部長代理：農林水産副大臣
副本部長：農林水産大臣政務官
本部長補佐：農林水産事務次官
本 部 員：農村振興局長
官房長
総括審議官
危機管理・政策立案総括審議官
消費・安全局長
農産局長
畜産局長
農林水産技術会議事務局長
各地方農政局長

（2）事務局

農村振興局水資源課

2 農業用水対策

農林水産省では、本年度からの新たな取組として、「水利施設管理強化事業」によって、現場における渇水対策のためのポンプの調達・運転や番水等に係る諸経費を補助することとしています。

この事業の詳細については、次の地方公共団体又は地方農政局にお問い合わせください。

北海道 農政部 農業施設管理課 （011-204-5408）
東北農政局 水利整備課 （022-261-8305）
関東農政局 水利整備課 （048-740-0549）
北陸農政局 水利整備課 （076-232-4724）
東海農政局 水利整備課 （052-223-4637）
近畿農政局 水利整備課 （075-414-9532）

中国四国農政局 水利整備課 (086-224-9421)
九州農政局 水利整備課 (096-300-6477)
沖縄総合事務局 農村振興課 (098-866-1652)

< 参考資料 >

[水利施設管理強化事業PR版\(PDF : 428KB\)](#)
[水利施設管理強化事業実施要綱\(PDF : 158KB\)](#)
[水利施設管理強化事業実施要領\(PDF : 328KB\)](#)
[土地改良事業関係補助金交付要綱\(PDF : 738KB\)](#)

【お問合せ先】

農村振興局整備部水資源課

担当者：伴、松下

代表：03-3502-8111 (内線5538)

ダイヤルイン：03-3592-6810

<対策のポイント>

農業水利施設は、食料安全保障の確保の基盤であり、また、国土保全や健全な水循環の維持・形成に寄与していることから、自然的・社会的・経済的情勢の変化を踏まえて、施設管理者への支援を充実し、施設機能の適切な発揮を図ります。

<事業目標>

安定的な用水供給と良好な排水条件を確保

<事業の内容>

1 一般型 <国庫補助率：1/2>

【対象施設】管理強化計画に基づき、土地改良区又は市町村が管理する国営・水資源機構造成施設、附帯県営造成施設等

【対象経費】① 多面的機能発揮に対応した費用（維持管理費の0.6/1.6等）
② 施設の整備補修に要する費用

2 連携管理保全型 <国庫補助率：① 1/4、② 1/2>

【対象施設】水土里ビジョンに位置付ける国営・水資源機構造成施設、附帯県営造成施設等

【対象経費】① 施設の維持管理費、② 施設の整備補修に要する費用

3 特別型（1及び2の対象外の施設） <国庫補助率：1/2>

① 流域治水対策

【対象施設】洪水調節機能強化に取り組む農業用ダム及び流域治水プロジェクト等に位置付けられた農業水利施設

【対象経費】治水協定ダム及び農業用ため池の事前放流、低水位管理、遠隔監視、農業水利施設による地域排水等の流域治水の取組に要する費用

② 渇水・高温対策

【対象施設】渇水・高温対策に取り組む農業水利施設

【対象経費】渇水対策BCPの策定、ポンプの調達、設置、運転等に要する費用

③ 特定外来生物対策

【対象施設】1及び2の対象施設と同一水系の農業水利施設

【対象経費】施設被害を予防するための資機材の調達、設置、運転等に要する費用

4 管理水準向上型（1、2及び3の施設） <国庫補助率：1/2>

管理水準向上のための技術的支援等に要する費用を支援

5 包括的民間委託推進型（1、2及び3の施設） <国庫補助率：定額>

包括的民間委託の試行に係る調査及びその実施に要する費用を支援

<事業の流れ>



※下線部は拡充内容

<事業イメージ>

農業水利施設を取り巻く情勢の変化による、施設管理の複雑化・高度化

集中豪雨の増加



都市化・混住化



農業構造等の変化



市街地・集落の浸水



水路への廃棄物流入



営農の多様化による水需要の変化



施設管理者への支援

農業水利施設の機能の適切な発揮

農業用ため池の低水位管理



スクリーンの除塵作業



きめ細かな操作管理



【お問い合わせ先】農村振興局水資源課（03-6744-1363）

水道用水の渇水状況と対応について

新潟県上越市において渇水に伴う節水要請を実施中。

※注) 上越市から水道水を受水している妙高市においても節水要請を実施中。

■主な経過

4/5 後谷ダムから県営高田発電所に導水する管路の破断により、同発電所からの取水ができなくなり、上越市城山浄水場が停止。

～7月 正善寺浄水場の配水量を増加させて対応していたが、配水量増と少雨により、水源の正善寺ダムの水位が低下。

7/15 上越市（ガス水道局）が渇水対策本部を設置し、40%以上の節水を要請。

7/25 市長を本部長とする「上越市渇水対策統括本部」を設置。市長からこれまで以上の節水の徹底を要請。

■影響範囲

上越市：46,500戸（約10万人） 上越市が40%以上の節水を要請中

※注) 上越市から水道水を受水している妙高市においても節水要請を実施中。

■対応状況

○上越市において、給水スポットの設置（47箇所）、休止浄水場からの配水、市内他系統からの融通を実施中。県と連携し、城山浄水場での取水対応中（沢山川の自流の緊急取水・後谷ダムからの水を破断管から放流し取水、下図）。

○新潟市、柏崎市が、日本水道協会新潟県支部の支援の枠組みにより、断水計画・応急給水計画の策定支援、給水車による仮設水槽への応急給水を支援。

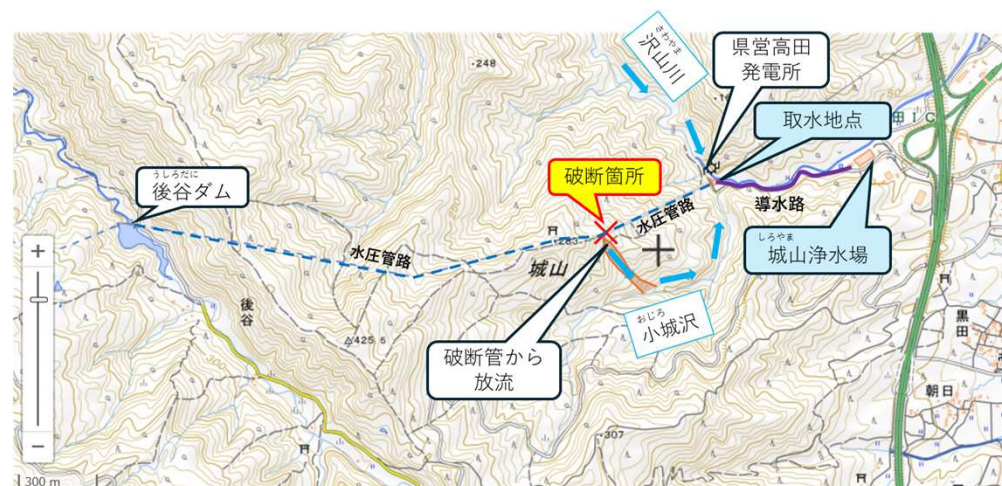
○国交省において、上越市への継続的な助言、県土木部や新潟市水道局への協力働きかけ、日本水道協会との調整、国総研との協力体制の構築等を実施。

【管路破断状況】



至高田
発電所

【位置図】



全国の降水の状況と今後の見通し

＜降水の状況＞

○北・東・西日本では、日本海側を中心に、6月下旬以降降水量が少ない状態が続き、記録的な少雨となっている所がある。

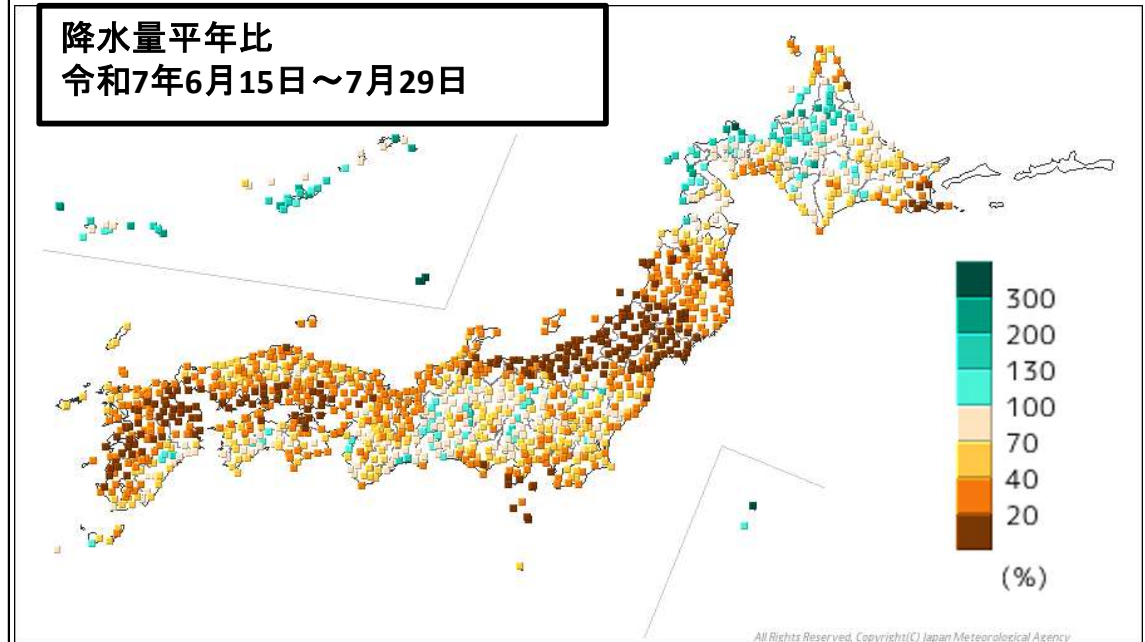
○6月15日から7月29日までの降水量は、平年の20%未満となっている所がある。

＜今後の見通し＞

○北・東・西日本日本海側は、向こう5日間程度は高気圧に覆われて晴れる日が多い見込み。

○8月前半は曇りや雨の日が多く、場所によってまとまった雨となる可能性はあるが、これまでの少雨を解消するほどの降水量は見込まれず、8月後半は再び高気圧に覆われて晴れる日が多くなる見込み。

○北・東・西日本日本海側の8月から10月にかけての降水量はほぼ平年並の見込み。



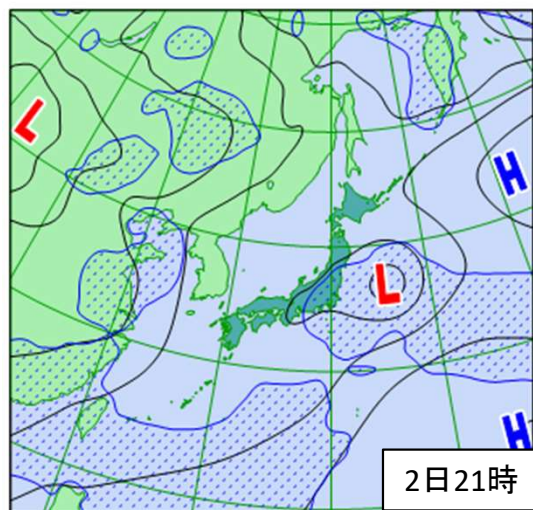
週間天気予報 令和7年7月31日～8月7日

日付	今日 31日(木)	明日 01日(金)	明後日 02日(土)	03日(日)	04日(月)	05日(火)	06日(水)	07日(木)
石・ 空知・後志	曇時々晴 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇時々晴 	曇時々晴 	曇一時雨 	曇一時雨 	曇一時雨
降水確率(%)	-/-/10/10	10/0/10/10	10	30	30	50	50	50
信頼度	-	-	-	A	B	C	C	C
山形県	晴 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇時々晴 	晴時々曇 	曇 	曇一時雨 	曇一時雨
降水確率(%)	-/-/0/0	0/0/10/20	30	30	20	40	50	50
信頼度	-	-	-	A	A	C	C	C
新潟県	晴 	晴 	晴時々曇 	曇時々晴 	晴時々曇 	曇 	曇一時雨 	曇一時雨
降水確率(%)	-/-/0/0	0/0/0/0	20	30	20	40	50	50
信頼度	-	-	-	A	A	B	C	C
島根県	晴時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	曇一時雨 	曇一時雨
降水確率(%)	-/-/20/20	0/0/10/10	20	20	20	20	50	50
信頼度	-	-	-	A	A	A	C	C

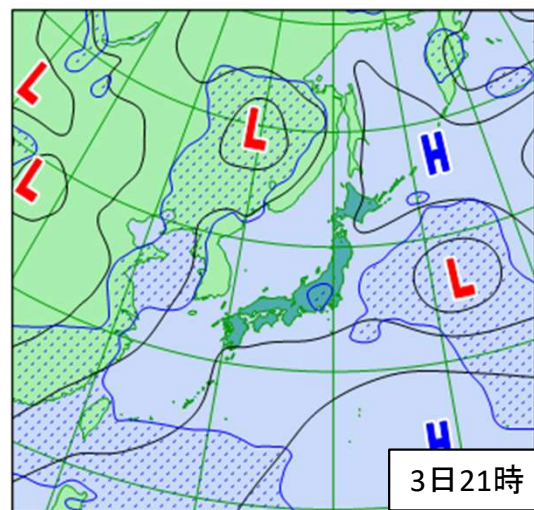
季節予報（降水量） 令和7年8月～10月

	8月(向こう1か月間)	9月	10月
北日本 日本海側	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
東日本 日本海側	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
西日本 日本海側	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み

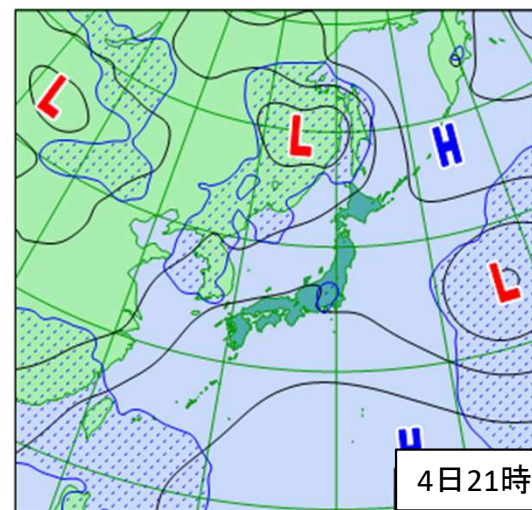
数字は各階級の確率(少ない:平年並:多い)



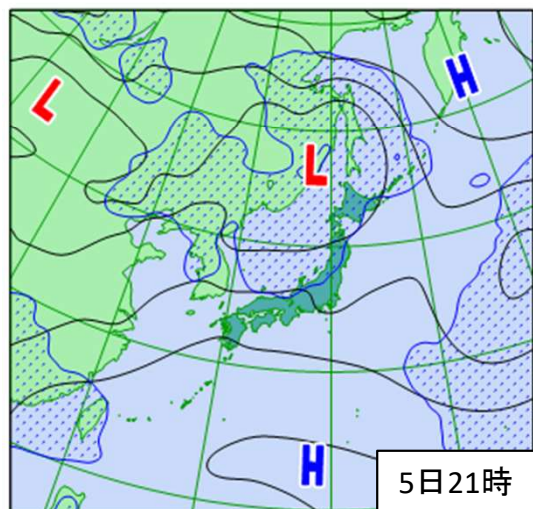
SURFACE PRESS, PRECIP(48-72)



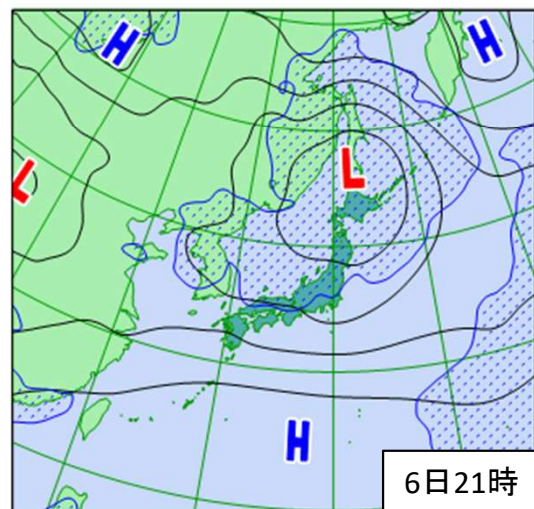
SURFACE PRESS, PRECIP(72-96)



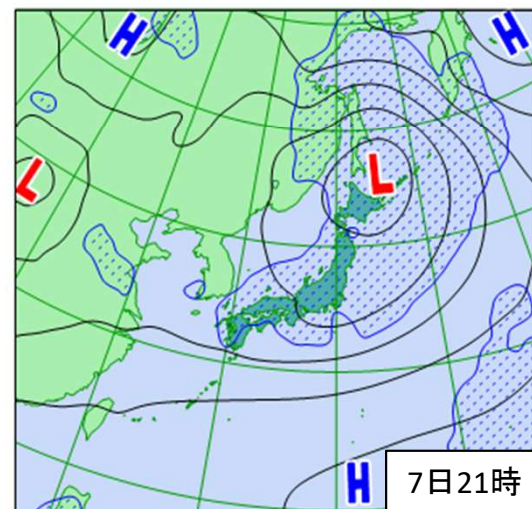
SURFACE PRESS, PRECIP(96-120)



SURFACE PRESS, PRECIP(120-144)



SURFACE PRESS, PRECIP(144-168)



SURFACE PRESS, PRECIP(168-192)

本資料は、天気予報等の基礎資料である数値予報の計算結果であり、気象庁が実際に発表する週間予報や台風予報等と異なる内容が含まれる場合があります。

 降水域

7月31日8時発表